

沖縄の熱い思いと共に

沖縄戦と集団自決 を考える集い

主催 相双教職員九条の会

沖縄戦で日本軍が住民に「集団自決」を強制したという「紛れもない事実（沖縄県議会意見書）」の記述が、来年四月から使用される高校日本史の教科書検定で書き換えられ、日本軍の関与が削除されました。沖縄では全市町村議会で、県議会では二度にわたって抗議の意見書が可決されました。今、超党派の検定撤回県民大会（9月29日）の成功に向けて島ぐるみの運動が起こっています。

○地元紙は伝えています。

検定撤回県民大会実行委員会（委員長 県議会議長）が全市町村の実行委員会結成を呼びかけ／県知事、県職員に参加呼びかけ／県教育長が全校長に参加要請／検定撤回署名52万筆／ある専門学校（1200名）が特別授業で参加表明／県バス協、会場まで片道運賃無料に／県高野連、日程変更し球児参加へ／地元報道機関連日報道等

●全国の高校生の使用する教科書からあの戦争の真実が国家によって消されようとしている現実を前に、東北の片隅でも沖縄に連帯して下記の要領でささやかな集いを持ちたいと思いますので、みなさんの参加を呼びかけます。



講師 菅野家弘氏（福島県歴教協会員）

菅野先生のお話をお聞きした後、それぞれの思いを語り合しましょう。

□日時 9月29日（土）3時～5時（沖縄県民大会と同時開催）

□場所 丸屋（原町駅前）会費無料

*5時半から希望者による懇親会予定。